

【概要・目的】

県産材を活用した木造住宅の普及と、公共建築物等の木造化・木質化を支援することにより、県民に木の良さをPRし、木材利用の拡大に繋げる。

平成 29 年度の当初計画 (P)

1. 公共事業や公共施設での県産材の率先利用と木製品の需要の拡大

- (1) 県産材利用拡大に向けた事業PR
 - ・木の香るまちづくり推進事業PR：申請（4月～6月）
：2次募集（7月）
 - ・木造公共施設等整備事業の相談受付（随時）

(2) 県産材利用推進に向けた行動計画の確実な実行

- ・各林業事務所担当者会の開催（4～5月）
- ・県産材利用推進幹事会の開催（8月）
- ・県産材利用推進本部会の開催（9月）
- ・県産材利用地域推進会議の開催（10月～）
- ・市町村の公共建築物等の木造化・木質化の推進に向けた取り組み

2. 県産材を活用した木造住宅建築の促進

- ・県内の県産材使用住宅への助成
- ・テレビ番組による情報発信（年間24回）
- ・木造住宅フェアの開催（10月28日、29日）

計画を進めるに当たってのポイント

- 1. 今後予定される公共建築物の情報を収集し、関係者に向けて木造化・木質化を要請
- 2. 県産材を活用した木造住宅への支援と取り組みのPR

平成 29 年度の上半期の取り組み状況 (D)

1. 公共事業や公共施設での県産材の率先利用と木製品の需要の拡大

- (1) 県産材利用拡大に向けた事業のPR
 - ・木の香るまちづくり推進事業 1次交付決定（18団体、24施設）
2次募集（8/3）
- (2) 県産材利用推進に向けた行動計画の確実な実行
 - ・4～5月の各林業事務所の担当者会において、公共施設の木造化・木質化の要請及び木質化に係る支援制度の説明
 - ・高知県産木材の供給及び利用の促進に関する条例の周知
 - ・県産材利用推進に向けた行動計画における目標値に対する実績・計画調査の実施
 - ・県産材利用推進幹事会（8/16）及び本部会（8/29）の開催

2. 県産材を活用した木造住宅建築の促進

- ・テレビ番組による情報発信の開始（4月～）
- ・住宅助成事業の申込み208戸（8月末現在／対前年比84%（H28.8月末248戸））
- ・木と人出会い館を活用した木造住宅及び木の良さの情報発信、住宅相談の実施（来館者数：4月54名、5月49名、6月91名、7月55名）
- ・木造住宅フェア実行委員会の開催（6/15、7/21、8/30）

見えてきた課題・改善策と第下半期の取り組み (C、A)

見えてきた課題・改善策

- 1. 公共事業や公共施設での県産材の率先利用と木製品の需要の拡大**
- 公共建築物への県産材の率先利用
⇒市町村等へ、高知県産木材の供給及び利用の促進に関する条例を周知し、施設等への県産材の利用を勧める

下半期の主な取り組み

- 1. 公共事業や公共施設での県産材の率先利用と木製品の需要の拡大**
- (1) 県産材利用拡大に向けた事業PR
 - ・木の香るまちづくり推進事業、木造公共施設等整備事業のH30年度要望調査（10月）
 - (2) 県産材利用推進に向けた行動計画の実行
 - ・県産材利用地域推進会議（9～12月）の実施
 - ・今後予定される非住宅建築物の関係者（市町村等）に対して、木造化・木質化について要請（随時）

2. 県産材を活用した木造住宅建築の促進

- 木造住宅フェア
 - ・第13回木造住宅フェアもくもくランド開催2017（10/28、29）

【平成 31 年度末の目標 〈H29 到達目標〉】

- 1. 県有施設の木造化率 = H31：100% 〈H29：100%（H27：75%）〉
- 2. 戸建て住宅の木造化率 = H31：現状値以上（全国平均以上）
〈H29：現状値以上（全国平均以上）（H26：90.4%）〉

【直近の成果】

- 1. 県有施設の木造化率 : H27の実績なし
- 2. 戸建て住宅の木造化率 : 91.5%（全国平均89.1%（H28実績））